

# 寄稿

## 十五年の思い出

矢板市シニアソフトボールクラブ  
代表 広瀬節(80歳)



写真提供者 菊池 幸雄氏

還暦を迎え、ソフトボールを愛する仲間たちとチームを作ろうということになりました。数人が中心になり、多くの方たちに声を掛けるところ、十八名の方が集まり、「矢板シニアソフトボールクラブ」を結成しました。

今までに六十数名の方がクラブに登録しましたが、若くして亡くなられた方が数名おり、無念に思われてなりませんでした。

今までも一番印象に残っていることは、何と言ってもクラブを結成した年の秋の関東大会・栃木県予選会で決勝まで勝ち進み、見事栃木県の代表として、翌年の春に小田原市で行われた関東大会に参加したことです。今でもその時参加したクラブ員が五名おり、元気にプレーしております。

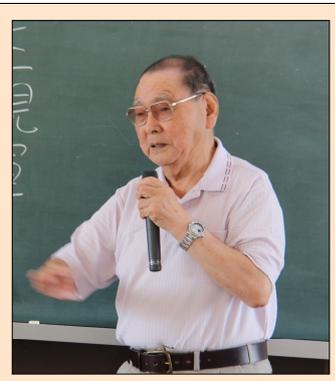
また、結成四年目のねんりんピック大会・栃木県予選会では残念ながら決勝戦で敗れてしまい、念願の全国大会に出場は叶いませんでしたが、結成当時からかなりの成績を収めていたので、県内でも注目的になっておりました。

現在、栃木県に登録しているチームはシニアクラブが二十数チーム、ハイシニアチームが十数チームあり、年々新しく登録されるクラブは、シニアの中でも若い方が多く、力強いチームが増えてまいりました。

これからも我々矢板ソフトクラブは一致団結し、和気あいあいといつまでも元気にソフトボールをしていきたいと思っております。

また私たちのクラブは知名度が低いかもしれませんが、今までの以上に邁進していきたいと思っております。興味のある方はぜひ私たちの仲間に入りませんか？  
歓迎します！

## 岡目八目



片岡公民館歴史講座  
講師 新井 正義さん (86歳)

さくら市喜連川在住。さくら市文化財保護審議会委員を務める。NHKで放映されている大河ドラマをテーマにし、登場人物や時代背景を細かく解説してくれる歴史講座の講師を5年間続けており、受講生からは、ドラマが良く理解できると好評である。

●この講座の開設のきっかけは？  
六年前に片岡公民館から講師依頼の話がありました。その時は、お断りしました。しかし、翌年に再度依頼がありましたので、お引き受けしました。

●解説する上での苦労は？  
日本史は難しいので、レジュメをしっかりと作ることに苦心しています。

●矢板市の印象は？  
矢板市内には、喜連川足利氏の藩領が六ヶ村(東西乙畑、大槻、石関、山苗代、越畑)ありましたので、親近感を感じます。

●矢板市内で気に入っている場所は？  
川崎城跡(中世喜連川塩谷氏の本家筋)と木幡神社です。ただ、木幡神社については、平安時代に書かれた神名帳に記載がありません。これは、当時の下野国庁の役員の怠慢としか言いようがなく、大変残念に思っております。



●最後に一言  
私は毎日三時間、日本史の勉強をしています。

**秋は食欲の秋！スポーツの秋！**  
10月17日・18日に県会場で野球大会を行います。ぜひ、お楽しみください。

**編集後記**  
10月17日・18日に県会場で野球大会を行います。ぜひ、お楽しみください。

